

# 順位情報と学習インセンティブ

梶谷真也<sup>†</sup> 小林健太郎<sup>†</sup> 鈴木史馬<sup>† ‡</sup> 中田勇人<sup>†</sup> 盛本圭一<sup>†</sup>

## 要旨

本稿では、試験の成績の順位が持つ、学生の学習への努力水準を適切に引き出す制度としての側面に焦点を当てる。具体的には、中間試験における順位情報の通知方法の違いが、中間試験から期末試験にかけての得点改善にどのような影響を与えるのかについて考察する。まず、学生の行動原理に関する理論モデルを構築する。そして、その理論的予測を教室での実験を通じて検証する。本稿は、学生の行動が最低限の努力費用で単位を取得しようとするシンプルな理論モデルと整合的であること、また順位についての不確実性の増大が、順位の限界的な低下の成績改善に与える限界効果を低下させるという理論的予測を実験データにより確認した。

**Keywords:** 実験、不確実性と意思決定、階差モデル

---

<sup>†</sup>明星大学経済学部 〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

<sup>‡</sup>Corresponding author